

令和5年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：循環型社会に貢献できる産業人材育成事業（古川工業高）

事業実施期間：平成20年度から令和5年度

担当課室名：高校教育課

TEL：3625

e-mail：ko-sho@pref.miyagi.lg.jp

URL：

1 事業の目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また、廃棄物の発生抑制や、リサイクル産業の振興並びに循環型社会について、専門高校生として取り組むことのできる実践としての基礎的研究を各関係団体からの支援を受けて行う。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

『解体木造建築物の構造材再利用促進の基礎的研究事業』

解体予定の木造建築物の部材を採取し、再利用可能な材料の補強方法を研究しながら、規格材として加工し、木工機械を活用した製作を行った。令和5年度は、校内で使用されていた学習機の天板を加工し再利用した。製作物は木製の案内板や学校内の環境美化物品、木製のプランターなどに取り組んだ。文化祭では3R啓発活動の紹介を行い、生徒だけではなく来校者への産業廃棄物の再利用・有効利用についてPRした。産業廃棄物の処理方法やリサイクル方法を学ぶために、リサイクル施設見学を実施した。

- ・校内で使用する木製の案内板の製作【7枚】
- ・校内で使用するテーブルの製作【2台】
- ・卓球用防球ネット【1台】
- ・図書室用移動式本棚【1台】
- ・木製玩具の製作・提供【積み木セット5個】
- ・端材を活用した木製ストラップ【100個】
- ・木製ホワイトボードの製作【20枚】
- ・木製プランターの製作・提供【20個】
- ・加工段階で出るカンナくず利用（県農業高校・加美農業高校へ家畜の敷きわら材として提供）

事業の取組に際して、津山町林業組合、宮城県解体工事業協働組合、地元の大工、木工建具職人と連携し、専門的知識の学習と作業体験及び技術・技能指導を受けた。

産業廃棄物の処理状況等、外部講師の指導による設計・製作工程を通じた実践的学習で、地球環境に配慮した今後の産業活動に関与できる人材の育成に努めた。

3 当該年度の実施事業の成果

- ・柱換算（105mm角）にして約24本分を再使用・再利用することができた。
- ・木工作業を通して、木材の再利用方法を学ぶとともに、木材加工技術を学び、設計・製作の理解を深めることができた。
- ・端材であっても製材することで木工製品として再利用することができ、生徒のリサイクル意識が高まった。
- ・リサイクル施設見学と専門的講師からの指導による実践的学習を通じ、地球環境に配慮した今後の産業生産活動に関与できる人材の育成を図ることができた。
- ・産業廃棄物の中間処理について学び、資源の再生利用について知識を深めることができた。
- ・地域の建設廃棄物処理企業や設計士、大工、木工職人との連携・協力体制が構築できた。
- ・生徒のアンケート結果では、産業廃棄物や廃材の再利用について学び、建築現場での廃棄物の現状について考えることができたという感想があった。

4 今後の展開

- ・各種団体や地域企業と構築した連携・協力体制を活用して、継続的な人材育成を図りながら、解体材料の提供や各種現場見学・実習場所等の確保に努めたい。
- ・生徒のアンケート結果では、環境保全活動の実践活動について考える機会が少ないため、校内での啓蒙活動だけに留まらず、家庭や地域を含めた活動も考えていく必要がある。
- ・今後も廃材を活用して製作した木工製作を、地域社会に役立てるために行政や各種団体・教育機関（中学校・小学校・幼稚園・保育園など）に寄付し活用していただけるよう関係機関と調整したい。また、要望を精査し製作可能なものを提供していきたい。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：関連授業時数)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
311	295	271

6 事業費の推移

単位：千円

令和3年度	令和4年度	令和5年度
2,311	2,256	2,261